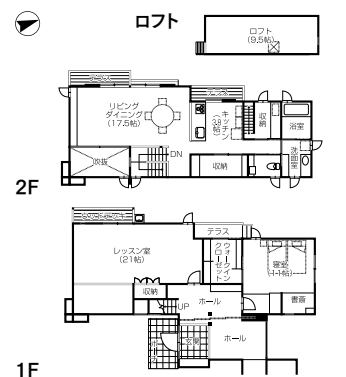


1. 高い位置の窓で採光も十分。左手にはサッシを設けているためさわやかな風が通り抜ける。サクラ材のフローリングの木目はやさしげな美しさ。奥にロフトも配置した。 2. 吹抜けの階下にはレッスン室を配置。通ってくる子ども達のレッスンや、奥様が自身が練習するピアノの音色が伝わってくるのはご主人たっの希望。



DATA

敷地面積	178.46㎡ (53.98坪)
延床面積	137.04㎡ (41.45坪)
1階	71.82㎡ (21.72坪)
2階	65.22㎡ (19.73坪)
構造	木造軸組工法



キッチンからリビングを見る。邪魔するものがなく、すっきりとしているのはオープンキッチンならではの。左手には吹付けの壁がアクセントの吹抜け空間。

広いリビングには屋根の傾斜に沿うあらかしの梁が映えます。通常は強度を保つために水平の位置にも梁を巡らせますが、N邸では設置しない設計手法に。木造軸組工法を基本に建物を面で支える構造の採用で、N邸の開放感あふれる空間づくりを実現しています。

長野市の住宅街。母屋と隣り合う場所に建てられたN邸は、センスあるWB工法の家で定評のある玉井建設が技術の粋を集めて完成させた、長期優良住宅の認定基準を上回る強さを備えた住まいです。奥様がピアノ奏者のNさんご夫妻。演奏会を開くだけでなくご自身でピアノ教室も開かれています。今回、暮らしの拠点とピアノ教室が一体となった住まいの新築は以前から親交のあった玉井建設に依頼されました。ご自身が一級建築士の資格をお持ちのご主人。自然の力で壁体内を通気させるWB工法に以前から着目されていましたが、同時に「強い家」そして「広い空間を持つ家」を望まれました。自ら基本設計と模型製作を行い玉井建設と打ち合わせと構造計算を繰り返し、国の基準以上の強度と広々とした2階のリビング、さらにはピアノ教室部分のしっかりとした防音性を備えた住まいが完成しました。

広い空間と高い耐震性を兼ね備える進化を遂げたWB工法の住まい

玉井建設

片流れの屋根形状そのままの天井にカラマツの梁をあらわして、大空間に木の色が映える。水平の梁がなくても高い強度を確保できたことによる空間づくりの技。





5. 程よい音色の実現に試行錯誤の末、完成したピアノレッスン室。「音の響きがいいとよく言われます」と奥様。生徒の評判も上々。 6. ピアノ教室の生徒さんたちも使う玄関ホールは広めの設計。あらかしの2本の柱は広い空間を引き締める効果も。



レッスン室から吹抜けを見上げて。階上と階下の気配を散えて伝え合うことで空間のつながりが増す。



スクエアでモダンな外観は、片流れ屋根ならではの世界。壁の最上部の窓に見える横長のスリットがWB工法独特の換気口。




 施工 玉井建設株式会社
 〒381-0023 長野市大字風間1478
 TEL : 026-221-5531 FAX : 026-221-5532
 E-mail : tamai-k@siren.ocn.ne.jp
 http://www.tamai-k.com/
 施工エリア 北信
 企画・基本設計 西澤哲一級建築士



3. ご主人の書斎は工夫満載。趣味の熱帯魚を世話するために水道を設置。階段状の本棚は、文字通りロフトに向かう「階段」を兼ねるオリジナルのアイデアが生きている。 4. 余分な壁や衝立を配してすっきりと使えるキッチン。リビング側にもたっぷりとした収納があり使い勝手が良い。



1. ご主人の書斎から上がるロフト。思いのほか広いスペースを確保しているため、来客の寝室代わりにも。 2. 照明にもこだわったシックな仕上がり寝室。パーコーナーを設えて、忙しい日々の終わりに心からくつろげる場所とした。

基準
ポイント

長期優良住宅+WBの家

「強い家」は、長期優良住宅に求められる要素の中でも特にお施主様の関心が高いポイントです。広いリビングに水平な梁を設けなくても高い耐震性を確保できた秘密、それは「面」で支える構造でした。屋根では構造材の組み上げに面の要素を取り入れ、屋根倍率（屋根の強さ）を向上させることに成功しました。

通気断熱WB工法を併せて採用することで、室内環境も常に快適です。WB工法は、壁体内の通気層で夏は熱気を逃がし、冬は空気の断熱層で温度を保ちます。専用の透湿クロスで室内の湿気も調節でき、四季を通じて快適でエネルギー消費を抑えた暮らしを実現できます。WBでは珍しいといえる片流れ屋根も採用し、玉井建設のWBの家は常に進歩を遂げています。

